

観 点	発 行 者 教育出版	教育芸術社
取扱内容 学習指導要領の総則及び各教科の目標、内容等	<p>○ 目標の達成を目指す歌唱の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遊びながら体を動かして歌ったり、歌詞の表す情景を想像しながら歌ったりする。(第 1,2 学年) ・手合わせをしながらリズムにのって歌ったり、旋律の特徴を生かした表現を工夫して歌ったりする。(第 3,4 学年) ・楽曲の特徴を捉えて歌ったり、自分たちの思いや意図を生かした表現を工夫したりする。(第 5,6 学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びながら体を動かして歌ったり、歌詞の表す情景を想像しながら歌ったりする。(第 1,2 学年) ・手遊びをしながら拍を感じて歌ったり、旋律の特徴を生かした表現を工夫して歌ったりする。(第 3,4 学年) ・歌声の重なり合う響きを感じ取って歌ったり、歌詞旋律の特徴を生かした表現を工夫したりする。(第 5,6 学年)
	<p>○ 目標の達成を目指す器楽の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手や打楽器を用いて歌詞に合わせてリズムを打ったり、音色に気を付けて簡単なリズムを打ったりする。(第 1,2 学年) ・パートの役割や曲の特徴を捉えて演奏したり、音の重なりに気を付けて演奏したりする。(第 3,4 学年) ・自分たちの思いや意図を生かした演奏を工夫したり、楽器の音色を組み合わせて表現効果を工夫したりする。(第 5,6 学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・手や打楽器を用いて歌詞に合わせてリズムを打ったり、曲想を感じ取って工夫して演奏したりする。(第 1,2 学年) ・互いの楽器の音を聴き合って演奏したり、音の重なりに気を付けて演奏したりする。(第 3,4 学年) ・自分たちの思いや意図を生かして演奏を工夫したり、楽器の音色の特徴を生かして演奏したりする。(第 3,4 学年)
	<p>○ 目標の達成を目指す音楽づくりの活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉を基につくったリズムをつなげて遊んだり、音の重なりやリズムを選んで演奏したりする。(第 1,2 学年) ・いろいろな楽器の音の響きや組合せを楽しんだり、役割を基に音楽をつくって即興的に表現したりする。(第 3,4 学年) ・和音に含まれる音を使って旋律をつくったり、曲を特徴付けている音型を基に音楽をつくったりする。(第 5,6 学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムに合う言葉でリズム遊びをしたり、身の回りの音を声で表して音楽をつくったりする。(第 1,2 学年) ・リコーダーを用いてお雛子の旋律をつくったり、打楽器の音を組み合わせる音楽づくりをしたりする。(第 3,4 学年) ・音楽の仕組みを生かしてリズムアンサンブルをつくったり、和音に含まれる音を選んで旋律をつくったりする。(第 5,6 学年)
	<p>○ 目標の達成を目指す鑑賞の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて体を動かしながら聴いたり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら聴いたりする。(第 1,2 学年) ・曲想とその変化に気を付けながら聴いたり、曲や演奏のよさなどを見いだしながら聴いたりする。(第 3,4 学年) ・曲や演奏のよさなどを見いだしながら聴いたり、曲想とその変化と音楽の構造との関わりに気を付けて聴いたりする。(第 5,6 学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽に合わせて体を動かしながら聴いたり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら聴いたりする。(第 1,2 学年) ・曲想とその変化と音楽の構造との関わりに気を付けて聴いたり、日本の民謡の特徴を感じ取りながら聴いたりする。(第 3,4 学年) ・楽器の響きに気を付けて演奏を聴いたり、日本の歌の言葉と旋律の美しさについて感受したことを書いたりする。(第 5,6 学年)
	<p>○ 学習活動における〔共通事項〕の取り扱い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音の出し方を工夫していろいろな音を見つけたり、楽曲の曲調を感じ取って聴いたりする。(第 1,2 学年) ・拍の流れにのって歌や遊びを楽しんだり、曲の流れを感じ取って聴いたりする。(第 3,4 学年) ・楽曲の面白さを感じ取って聴いたり、旋律や響きの変化を捉えて演奏したりする。(第 5,6 学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・様子を思い浮かべて楽曲を聴いたり、歌詞の表す情景を想像しながら歌ったりする。(第 1,2 学年) ・曲の特徴を感じ取って聴いたり、拍の流れや旋律を感じて演奏したりする。(第 3,4 学年) ・曲想と歌詞の内容との関わりに気を付けて歌ったり、曲想の変化を味わいながら聴いたりする。(第 5,6 学年)

	<p>○ 主体的・対話的で深い学びの実現に資する学習への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「みんなで合わせて」において、使う楽器の音の出し方を工夫して合奏する。(第1,2学年) ・「わたしたちの表現」において、楽器の音や声の響きを聴き合いながら演奏する。(第3,4学年) ・「音楽に思いをこめて」において、楽曲に込められた思いを感じ取って歌う。(第5,6学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・「ドレミであそぼう」において、選んだ音でつくった短い旋律のつなげ方を工夫する。(第1,2学年) ・「いろいろなリズムを感じ取ろう」において、反復や変化を使ったリズムで音楽をつくる。(第3,4学年) ・「いろいろな音色を感じ取ろう」において、声の響きの重なりを生かして音楽をつくる。(第5,6学年)
内容の構成・排列，分量等	<p>○ 内容の構成・排列についての工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・曲の特徴に合わせて体を動かす学習の後に、聴こえた音を書いたり、曲の楽しさについて友達と交流したりする。(第1,2学年) ・旋律の流れに合わせて体を動かす学習の後に、指揮の動きをしながら聴き取ったことを書いたり、曲のよさを交流したりする。(第3,4学年) ・曲の特徴に着目して聴く学習の後に、楽器の関わりや曲の特徴に気を付けて聴いたり、曲のよさなどを交流したりする。(第5,6学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムに合う言葉でリズム遊びをする学習の後に、太鼓の口唱歌を組み合わせるリズムをつくる。(第1,2学年) ・三三七拍子のリズムを基にリズムをつくる学習の後に、反復や変化を使ってリズムアンサンブルをつくる。(第3,4学年) ・音楽の仕組みを生かしながら音楽をつくる学習の後に、声の響きの重なりを生かしてボイスアンサンブルをつくる。(第5,6学年)
	<p>○ 内容の分量</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1学年 76ページ(6%増) ・第2学年 76ページ(6%増) ・第3学年 78ページ(5%増) ・第4学年 78ページ(前回と同様) ・第5学年 78ページ(前回と同様) ・第6学年 78ページ(前回と同様) 	<ul style="list-style-type: none"> ・第1学年 83ページ(11%増) ・第2学年 83ページ(11%増) ・第3学年 87ページ(16%増) ・第4学年 87ページ(16%増) ・第5学年 87ページ(16%増) ・第6学年 87ページ(16%増)
使用上の配慮等	<p>○ 児童の学習意欲を高める工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見開きごとに「学習のめあて」を掲載(全学年) ・教材曲や学習活動に即した児童への解説を掲載(全学年) ・北海道民謡「ソーラン節」を歌唱及び鑑賞の教材として掲載(第4,5学年) 	<ul style="list-style-type: none"> ・裏表紙に子どもが郷土芸能を受け継いで活躍している写真の掲載(全学年) ・演奏家のメッセージを掲載(第3～5学年) ・北海道民謡「ソーラン節」を鑑賞教材として掲載(第5学年)
	<p>○ 児童が主体的に学習に取り組むことができるような工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「学びナビ」を掲載(全学年) ・「学び合う音楽」コーナーを掲載(第3～6学年) ・巻末資料『音楽のもと』まとめを掲載(全学年)等 	<ul style="list-style-type: none"> ・巻頭「音楽の木」を掲載(全学年) ・巻末「ふり返りのページ」を掲載(全学年) ・各ページに学習のねらいや音楽を形づくっている要素を掲載(全学年)

	<p>○ 使用上の便宜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・折込ページの取り入れ（全学年） ・ユニバーサルデザインフォントを使用 	<ul style="list-style-type: none"> ・「歌いつごう日本の歌」のコーナーを掲載（全学年） ・ユニバーサルデザインフォントを使用
	<p>○ 地域素材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生涯学習としての音楽活動を素材として提示できる教材を掲載 ・音楽づくりや鑑賞の授業において地域在住のゲストティーチャーを招聘し、実際に楽器に触れたり音色を聴いたりする学習活動ができるような教材を掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽づくりや鑑賞の授業において地域在住のゲストティーチャーを招聘し、実際に楽器に触れたり音色を聴いたりする学習活動ができるような教材を掲載 ・ゲストティーチャーの活用と関連させることのできる和楽器等の図を掲載
	<p>○ ICTの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・QRコードを掲載 ・発行者ウェブサイト「まなびリンク」を掲載 ・演奏に合わせてスコアに色が付き、音の重なりや呼びかけと答えなどが一目で分かる工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・QRコードを掲載 ・関連する画像データや外部サイトへのリンクや多様な資料素材の掲載 ・指導者・保護者向けのインターネットを活用する際の注意点等を掲載
	<p>○ 小・中連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各教材ページの上部に音楽を形づくっている要素の言葉を示すとともに、高学年では関連事項のメモ欄を掲載 ・全学年の巻末に「『音楽のもと』まとめ」を掲載 ・中学校へのスムーズな移行を促すよう〔共通事項〕を掲載 ・各種楽器の特徴や音色等を取り扱う工夫（全学年） ・発達段階に応じて英語の歌を掲載（全学年） 	<ul style="list-style-type: none"> ・各教材ページの下部に音楽を形づくっている要素の言葉を掲載 ・全学年の巻末に「ふり返りのページ」により、「まとめ」や「ふり返り」を掲載 ・中学校へのスムーズな移行を促すよう〔共通事項〕を掲載 ・各種楽器の特徴や音色等を取り扱う工夫（全学年） ・発達段階に応じて英語の歌を掲載（全学年）
本市児童の学習の状況等	<p>○ 音の重なりやフレーズを聴き取り、よさや面白さを生かして表現を工夫する力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表現の特徴や工夫等の学び方のポイントをコラム「まなびナビ」に掲載 ・「学び合う音楽」のページを設け、歌い方の工夫について観点を掲載 	<ul style="list-style-type: none"> ・感じたこと等を書き込む欄や音の重なりを表に整理するワークシートの工夫 ・3種類のキャラクターの吹き出しを用いて、表現の工夫のヒントを掲載
	<p>○ 音遊びや即興的な表現を通して得た発想を生かし、即興的に音を選んだりつなげたりして表現する力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音を重ねたり選んだりするなどの活動方法を「音のスケッチ」に中で図説するなど、学習の手順を掲載 ・モチーフやテーマ、伴奏、楽譜などによる具体例を掲載し、作曲を意識した音楽づくりを促す工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・全ての学年に「音楽づくり」の教材を掲載 ・楽器の音の形やリズムを絵図で表したり、短いモチーフをつくり、選択したりつなげたりすることで、音遊びや即興的な演奏表現の活動が容易にできるようにする工夫
	<p>○ 想像したことや感じ取ったことを言葉で表すなどして、友達と伝え合い、友達の感じ方や考え方に共感する力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・巻末の「音楽を表すいろいろな言葉」に曲想や音楽の構造を伝えるための言葉を掲載 ・写真や図説による資料等を活用してワークシート欄に自分の考えや気づきをまとめ、話し合う活動に生かす工夫 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを書き込むワークシートや話し合い活動を行う際の資料となるページ等を掲載 ・楽曲のイメージに合った写真を掲載したり、音色や曲想を図化したりするなど、楽曲の特徴を視覚的に捉えやすくする工夫

